

プロジェクト学習(国際看護学演習)・シラバス

科目名(副題)	国際看護学演習 (Global Nursing Science Practice)	
主講師(ファシリテータ・協力者)	夏原和美(kazumi.natsuhara@med.toho-u.ac.jp)・特別講師：鈴木敏恵	
単位・時間・受講対象	1 単位・30 時間・3 年次秋	
概要 (社会的意義)	<p>国際保健看護学の対象となる人々の生活を理解し、課題解決のための取り組みを【現地でプライマリ・ヘルスケアを実現できる国際看護師になろう!】プロジェクト通して行う。</p> <p>授業ではチームで架空の海外に居住する対象者へのケア提案書を作成する。それぞれの学生が文献のほかインタビューや実験など根拠となる情報を集めてポートフォリオを作成し、学生同士のディスカッションを中心にケア内容を検討し、凝縮ポートフォリオとしての A3 用紙 1 枚の提案書を作成し、プレゼンテーションする流れで進める。</p> <p>グローバル社会において看護師に求められる、必要な自分とは異なる価値観・信条や生活背景を持つ人の理解、人の尊厳及び人権を擁護する行動、利用者の意思決定を支える援助、資源が限られた中での援助の工夫、プレゼンテーション、相互コーチングなどの力を伸ばすことができる。</p>	
キーワード	Sustainable Development Goals、プライマリ・ヘルスケア、文化、生活、リアル	
目的・身につく力	<p>専門知</p> <p>1-1)個別な価値観・信条や生活背景を持つ人の理解</p> <p>1-2)人の尊厳及び人権の意味を理解し擁護する行動</p> <p>2 利用者の意思決定を支える援助</p> <p>3 多様な年代や立場の人との援助的人間関係形成</p> <p>15 地域ケア体制の充実に向けた看護職の役割</p> <p>個人特性及び地域共同体特性に対応した健康環境づくり</p>	<p>普遍知</p> <p>□イメージ力、リサーチ力、課題発見力、課題解決力、プレゼンテーション力、相互コーチング力</p>
プロジェクト学習の Vision と Goal	ビジョン (願い) : プライマリ・ヘルスケアの実現	<p>ゴール(具体的な目標): "その人"の健康を改善するための最適行動を提案する!</p> <p>(ミッション: SDGs の精神を軸に、"その人"の健康を阻害する状況を回避させる)</p>
科目の到達目標	<p>1.テーマごとに対象者の生活をリアルに描くことができる。</p> <p>2.現状を分析し、優先度の高い課題を絞り込むことができる。</p> <p>3.根拠に基づき、設定状況でも実行可能な提案書を作成できる。</p> <p>4.相互コーチングをしながらプレゼンテーション資料を作成できる。</p> <p>5.テーマについてプレゼンテーション・ディスカッション(他の学生へのフィードバック)ができる。</p>	
看護学部 DP との関連性	<p>到達目標を達成することにより、以下の素養を身につけることにつながります。</p> <p>□ 1. 生命と自然に対する畏敬の念と人間の営みについての理解の礎となる教養を身につけている</p> <p>□ 2. 倫理観・責任感をもち、他者との信頼関係を築き協働できる</p> <p>☑ 3. 生命□生活□人生を支える看護を実践し、社会に貢献するための専門的知識□技能を有している</p> <p>☑ 4. 探究心を持ち、主体的に研鑽を積むことができる</p> <p>☑ 5. 異なる文化や多様な考えを尊重した行動がとれる</p>	
学習の成果物	「国際看護師として 現地で 'その人'の健康を改善するための提案集」(共通ゴール)	
評価方法	到達目標 1 と 2 に関する提出物 60%、授業内プレゼンテーション 20%、授業内ディスカッションへの参加 20%から総合的に評価します。	

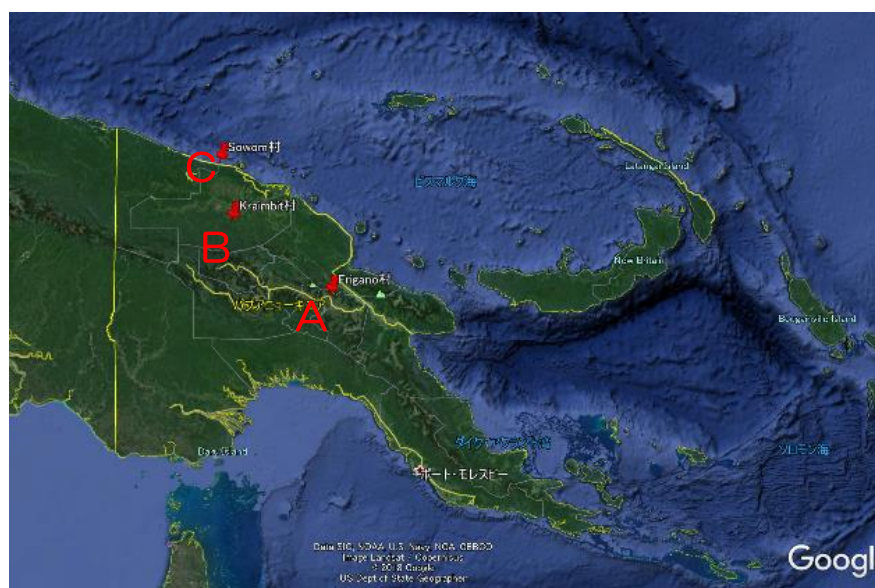
実施計画 10月8日～1月9日	10/8 準備	10/29 ビジョン・ゴール	計画	11/5 情報・解決策	制作	11/12 プレゼン	再構築	12/17 成長確認
	1. プロジェクト学習に伴う事前・事後課題を課します。詳細については初回講義で説明します。 2. 30時間の演習に対して、15時間の時間外学習を行ってください。							
講義室・場所	zoom でオンタイムの授業（変更もあるので常に Google classroom 参照のこと）							
1 限 9:00-9:50	回	日時	場所	内容				
2 限 10:00-10:50	1-3	10/8 (土) 2-4 限	Web	オリエンテーション：授業のねらいと進め方を理解する				
3 限 11:00-11:50				・プロジェクト学習とは				
4 限 12:00-12:50				・課題とはなにか				
5 限 13:00-13:50				・プライマリ・ヘルスケアの考え方と SDGs (No one left behind)				
6 限 14:00-14:50				・健康の社会的決定要因モデル				
7 限 15:00-15:50				・「対象者①～⑥」から、自ら担当したい対象者を一人選ぶ				
8 限 16:00-16:50				・同じ関心を持つメンバーでチーム（2～3人程度）をつくる				
9 限 17:00-17:50				・名前と対象者の全体像の設定をチームで相談して決める				
				事後課題： 対象者の設定をみながら、国際看護師としてその地に派遣された自分を想定し、'その人'の全体像と課題を描き出す。				
	・全身像を描く（カラー）							
	・身体シート							
	・対象者の日常生活（生活シート）							
	課題は、どんな時にどんなことに困りそうか、現状を知るためにはどんな情報が必要か、を 5W1H を入れて、箇条書きでなるべくたくさん書いてくる。							
	動画視聴 未来教育オンライン講座 Week2 現実をステージにする アクティブラーニング（大学） https://www.youtube.com/watch?v=rjpoHDI3-as&list=PLi18SZsO7-R-I55E2SH5oIS73TTc_9uUB&index=2							
	4-7	10/29 (土) 1-4 限	Web	課題の絞り込みと根拠に基づいた提案のための情報収集				
				チームの課題の絞り込みをし、Vision と Goal の設定				
	・対象者の 1 番の課題は何か、何をどうしたいのか、を決定する							
	<チームの課題の絞り込みをして Vision と Goal を文章にし、ゴールシートを完成させる>							
	事後課題：Real10 シートを使って、工程表の作成							
	・Goal にたどり着くためにすべきことをイメージする							
	・以下の項目について、根拠ある（独りよがりでない）説明をするために必要な情報を、いつ、どこで、誰から、何について、どのようにして集めるかを工程表を使って計画する							
	★「現状はどうかの？」R10 の設定 を「ビジュアル化」と「数値」「固有名詞」で表現する							
	★「どうなったらいいの？」（ありたい状態）							
	★「どうやったらそうなるの（現状とありたい状態の差を解決するための国際看護師としての具体的な行動は）？」							
	・優先順位とそれに使う時間を配分しながら、戦略的な計画を							

				立てる（工程表の作成）
8-11	11/5 (土) 1-4 限	Web	<p>健康課題に対する提案</p> <p>相互コーチングをしながら以下の点を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案は現状を踏まえているか（ポートフォリオの中の現状に関する情報を示しながら説明すること） ・セルフケア能力を活用しているか（ポートフォリオの中にアセスメントの根拠となる情報を入れておくこと） ・実現可能性は高いか（ポートフォリオの中に実現できる根拠としての資料を入れておくこと） <p><‘その人’の健康課題を暮らしている環境との関係で説明できる></p> <p><文化的に違和感のないケアの提供に必要な情報を列挙できる></p> <p>国際看護師活動の実際（Web 講演会）</p> <p>福岡赤十字病院の川口真由美看護師にお話しをききます</p> <p>★ゲストスピーカー</p> <p>福岡赤十字病院 川口真由美さん</p> <p>事前課題：川口さんへの質問を一つ考えておくこと。下記の記事等も参考にしてください。</p> <p>https://www.nishinippon.co.jp/item/n/430788/</p> <p>https://www.nishinippon.co.jp/item/n/468982/</p> <p>https://www.jrc.or.jp/chapter/fukuoka/about/topics/2021/1028_021513.html</p> <p>・事後課題：ポートフォリオの中身を凝縮ポートフォリオ（A3用紙 1 枚）にまとめる準備</p> <p>整理すること</p> <p>①現状のまとめ、②課題が解決された状態、③課題を解決する（現状と理想の Gap を埋める）ための具体的な行動に関する提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不足している情報はないか？ ・情報の比較、分類を通して情報の持つ意味を分析する 	
12-15	11/12 (土) 1-4 限	Web	<p>中間発表</p> <p>対象者の健康課題を解決するための提案書中間発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案内容をもっと良くするためにはどうしたらよいか、再構築のためのヒントとして学生同士で有効な助言を共有する <p><再構築のためのヒントをあげる、もらう></p> <p>事後課題：ディスカッションを参考にして提案内容を再構築し、ゴールシートに示した Goal を達成させるような提案書（凝縮ポートフォリオ）を完成させる</p>	
16-23	11/28 (月) 1-8 限	外部	<p>JICA の活動についての見学体験</p> <p>市ヶ谷の JICA 地球ひろば集合</p> <p><援助活動の実際（リアル）を見て、自分の提案との共通点、相違点を見つける></p> <p>事後課題：見学レポート</p>	
24-27	12/17 (土)	Web	<p>事前課題：成長報告書の記入</p> <p>『国際看護師として現地で“その人”の健康を改善するための</p>	

	1-4 限	提案集』発表会 ・凝縮ポートフォリオの共有（プレゼンテーション） ・成長報告書の共有（プレゼンテーション） ・学びの俯瞰 事後課題：凝縮ポートフォリオの完成後提出
テキスト・参考図書	鈴木敏恵「プロジェクト学習の基本と手法―課題解決力と論理的思考力が身につく」教育出版 2012	
履修要件	特になし	
評価の視点	・【資源の活用】のもと、持続可能な提案であること（SDGs の精神でもある） ・【ニーズ指向】のもと、'その人'に受け入れられる提案であること ・【住民参加】のもと、その人を中心的存在とした（尊厳を守り）、その人のセルフケア能力向上に働きかける提案であること ・【協調と統合】のもと、“その人”の社会的環境、経済的環境、人的環境、自然環境などを最大限に活用した提案であること 提出物 60%、授業内プレゼンテーション 20%、授業内ディスカッションへの参加 20%から総合的に評価します。	
受講生へのメッセージ	1. 事前事後課題をもとにグループワークをします。準備をせずに来た場合は、参加とはみなしません。課題をこなすのに時間がかかって困る場合は、早目に相談に来ること。 2. 凝縮ポートフォリオは学生同士でピア評価をして、再構築したものを最終評価の対象とします。そのほかに、自己評価として成長報告書を提出してもらいます。 3. 連絡は Google classroom で行います	
プロジェクト学習 e ラーニング	検索 未来教育オンライン講座 http://www.mm-miraikyoku-onlinecourse.com/	

<このプロジェクト学習の基本設定>

みなさんは、看護師として働き始めて 3 年目です。かねてからの希望が受け入れられ、国際 NGO 団体の海外派遣研修に参加するための休職期間を 1 か月取得することができました。それぞれの地区には 1 人で派遣され、1 か月の間にプライマリ・ヘルスケアを実現して帰ってくるのが求められています。持っていける薬品は自分のものだけです。



A. パプアニューギニア 東高地州

Lower Asaro エリア Frigano 村

- ①33 歳女性（4 か月男児）
- ②高齢（年齢不明）男性
- ③6 歳男児

B. パプアニューギニア 東セピック州

Angolam 地区 Black water Kraimbit 村

- ④12 歳男児
- ⑤19 歳女性

C. パプアニューギニア 東セピック州

Wewak 地区 Boiken Dagua Sowom 村

- ⑥22 歳女性（10 か月女児）